

令和5年

第12回猪苗代町農業委員会定例会議録

令和5年11月20日開催

猪苗代町農業委員会

令和5年第12回猪苗代町農業委員会定例総会会議録

1. 日 時 令和5年11月20日（月） 午前9時30分

2. 場 所 猪苗代町農村環境改善センター 3階 農事研修室

3. 出席者

農業委員

1番 渡部 誠	2番 小檜山 浩子	3番 大月 喜裕
4番 高橋 二三雄	5番 鈴木 範政	6番 鈴木 正晃
7番 遠藤 正浩	8番 丸山 之子	9番 二瓶 公司
10番 浦 大輔	11番 安達 壽人	12番 土屋 勇雄

農地利用最適化推進委員

13番 笹岡 正人	14番 氏田 泰昭	15番 関和 慎一
16番 岸本 恵里子	17番 古川 昭一	18番 相馬 裕幸
19番 鵜浦 正俊	20番 小檜山 正次	21番 桑原 富男
22番 神 庄也	23番 長谷川 竹司	24番 小檜山 慶一郎

4. 事務局 局長 長谷川 勲 主幹 佐藤 すずい 主事 渡部 善和

(開議時間：午前9時30分)

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは、ただ今から令和5年 第12回猪苗代町農業委員会定例総会を開会いたします。

本日の定例総会の招集につきましては、11月1日告示し、同日付で、農業委員及び農地利用最適化推進委員に告知申し上げたところであります。

それでは、農業委員の出席状況を報告します。

在任委員数12名のうち、

出席委員12名、全員出席であります。

したがいまして、農業委員会等に関する法律第27条第3項の規定により、過半数以上の出席がありますので、本総会は成立いたしました。

次に、農地利用最適化推進委員の出席状況を報告します。

在任委員数12名のうち、

出席委員 12名、全員出席であります。

委員の皆様に申し上げます。

各議案の審議の際、調査員としての報告、または、補足説明を求められた場合は、挙手のうえ発言をお願いします。

また、調査員でない委員の方であっても、審議の際の発言は可能でありますので、その際は挙手をお願いします。

なお、推進委員の皆様には表決権がございませんので、採決には参加できません。あらかじめご了承ください。

次に、猪苗代町農業委員会総会 会議規則第18条により、議事録署名委員を、2名指名したいと思います。議長において、指名することに、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認め、

6 番 鈴 木 正 晃 委員

10 番 浦 大 輔 委員

の2名を指名いたします。

次に、審議の方法について、お諮りいたします。本日の提出議案については、議案ごとに一括して上程し、逐次審議することとし、採決は挙手による方法といたしたいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。

本日の提出議案は、

報告第12号 農地法第18条の規定による通知について（合意解約）

議案第43号 農地法第5条の規定による許可申請について（所有権移転）

議案第44号 農地法第5条の規定による許可後の事業計画変更申請について

議案第45号 農用地利用集積計画の決定について

以上、4件であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは始めに、報告第12号「農地法第18条の規定による通知について（合意解約）」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 主幹）

報告第12号「農地法第18条の規定による通知（合意解約）」について、説明します。

この報告は、農地の貸借契約を解約した旨、貸借契約の当事者から通知がありましたので報告するものであります。

2 頁をご覧ください。

No.1 の貸付人は、〇〇の〇〇 〇〇、借受人は、〇〇の〇〇 〇〇であり、解約理由は耕作者を変更するためであります。

解約地積、貸借期間及び合意解約日等につきましては議案書記載のとおりです。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたが、この案件にきましては報告案件でありますので、審議の対象ではありませんが、質問があればお受けいたします。

質問ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので報告を終結します。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第43号「農地法第5条の規定による許可申請について（所有権移転）」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 主幹）

議案第43号「農地法第5条の規定による許可申請（所有権移転）」について説明いたします。

この議案は、農業委員会の意見を決定したいので審議をお願いするものであります。

4 頁をご覧ください。

No.1 の譲渡人は、〇〇の〇〇 〇〇、譲受人は、〇〇の〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇であり、申請地は大字〇〇字〇〇52 番 畑 1 筆 495 m²であります。

申請事由としましては、譲受人は〇〇地区の事業所で土木建設業を営んでおりますが、平成20 年頃より工事資材の取扱量が増え、既存の資材置場では手狭となり、申請地まで拡張して利用して来たものであり、本件は既に資材置場として利用してきた追認案件であります。

議案説明資料の3・4・5 頁が、申請地の案内図、公図、土地利用計画図となっておりますので、併せてご覧願います。

次に、No.2 の譲渡人は、〇〇の〇〇 〇〇、譲受人は、〇〇の〇〇 〇〇であり、申請地は大字〇〇字〇〇8245 番 10 畑 1 筆 443 m²であります。

申請事由としましては、申請人は、現在借家住まいで、移住して実家の近くに住宅を建てるべく、土地を探していたところ、該当地の紹介を受け、買い受けて利用するものであります。

議案説明資料の6・7・8 頁が、申請地の案内図、公図、土地利用計画図となっておりますので、併せてご覧願います。

なお、これらの案件につきましては、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局として受理し、担当地区の農業委員及び推進委員の方に調査書に基づく調査と、現地調査をお願いし、提案しております。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、No.1の調査員であります8番 丸山 之子 農業委員に報告を求めます。

○8番（丸山之子 農業委員）

議案第43号のNo.1について、11月13日、午前10時、〇〇地区担当の農業委員2名、推進委員2名、申請者代理人、会津農林事務所職員及び農業委員会事務局2名立会いのもと、現地調査を実施しましたので報告いたします。

申請地は、県道〇〇〇〇停車場線の東側、〇〇行政区の北側に位置する農振農用地区域外（白地）の農地です。

申請人は、〇〇地区内の事業所で土木建設業を営んでおり、昭和59年2月に申請地西側2筆（〇〇54・55）を農地法5条転用により取得し、資材置場として利用していましたが、昭和60年の県道拡幅により2割近く面積が減り、また、平成20年頃より工事資材の取扱量が増え、既存の資材置場では手狭となったため、平成23年4月に東側1筆（〇〇53）を更に転用により取得し、資材置場を拡張して利用し始めました。その際に今回申請地も許可を受けたものと勘違いし、賃貸借により利用してきたものであります。

今般、譲渡人より申請地を無償で贈与する旨の話を受け、追認により許可を受けるべく本申請に至ったものであります。

なお、申請地は概ね10ha以上の農地が連坦する一団の農地区域に当たる「第1種農地」で原則転用は許可出来ませんが、本申請の場合申請人の業務上必要な施設で、集落に接続して設置されるものとして例外的に許可できるものに該当しております。

また、申請地西側は申請人の雑種地、北側と南側は農道、東側は農地（畑）ですが、設置資材の高さを2m前後に抑え、日照等の営農に支障を及ぼさないよう配慮するとのことであり、付近の農地や農作物、また農業用排水施設等にも影響は無いものと思われます。

以上の内容から転用することに問題はなく、許可の要件を満たしていると判断したので報告いたします。

○議長（土屋勇雄 会長）

21番 桑原 富男 推進委員に申し上げます。

調査報告に補足があればお願いします。

○21番（桑原富男 推進委員）

私からは、特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.1の審議を行います。

調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第43号のNo.1について、申請のとおり許可相当との意見を付して、県に進達することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第43号のNo.1については、申請のとおり許可相当との意見を付して県に進達することに決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、No.2の調査員であります7番 遠藤 正浩 農業委員に報告を求めます。

○7番（遠藤正浩 農業委員）

議案第43号のNo.2について、11月13日、午前10時30分、〇〇地区担当の農業委員2名、推進委員2名、申請者代理人、会津農林事務所職員及び農業委員会事務局2名立会いのもと、現地調査を実施しましたので報告いたします。

申請地は、〇〇行政区のほぼ中央に位置する、農振農用地区域外（白地）の農地であります。

申請人は、現在〇〇町で夫と子供1人の3人で、借家住まいをしておりますが、子供の成長に伴い現在の住宅では手狭になり、また自分たちの老後の生活に備え、生まれ故郷である猪苗代町に移住したいと考え、土地を捜していたところ、申請地を売却しても良い旨の話を受け、本申請に至ったものであります。

本申請地は、もともと1,117㎡の畑でしたが、現所有者の同意を得て、住宅用地として必要な面積として443㎡を、分筆により買い受けて利用するものであり、北側及び東側は町道に接し、西側及び南側は畑ですが、造成工事を施し、土砂流出等を防止する計画であり、付近の農地や農作物、また農業用排水施設等にも影響は無いものと思われれます。

以上の内容から、転用することに問題はなく、許可の要件を満たしていると判断したので報告いたします。

○議長（土屋勇雄 会長）

22番 神 庄也 推進委員に申し上げます。

調査報告に補足があればお願いします。

○22番（神庄也 推進委員）

私からは、特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.2の審議を行います。

調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。

意見、討論、質疑ございませんか。

○4番（高橋二三雄 農業委員）

事務的な流れについて確認したいのですが、先程現地調査の立会人で農林事務所職員が申請人としてあがっておりましたが、基本的に譲渡人・譲受人が当事者と思われませんが、その辺のところの説明をお願いします。

○事務局（佐藤 主幹）

ご説明いたします。

本来ですと、農地転用申請について、町で審議し許可の要件を満たしているとの意見を付して県に進達しますと、県の出先機関として会津農林事務所でも現地調査に参ります。

今回は、県との事前協議の段階で、町の現地調査に会津農林事務所の職員も立ち会わせて欲しいとの要請があり、町の現地調査に会津農林事務所の職員も立ち会って、併せて現地調査を行ったものであります。

○4番（高橋二三雄 農業委員）

会津農林事務所が申請人というのは、どういう事ですか。

○事務局（佐藤 主幹）

申請人は、あくまでも譲渡人と譲受人であります。

農地転用許可申請の場合、申請書の宛名は福島県知事であり、許可権者として会津農林事務所でも現地調査を行なう必要があり、町の現地調査に同席したというものです。

○議長（土屋勇雄 会長）

先ほどの報告は、現地調査に立ち会った人を続けて読み上げただけで、申請者代理人として会津農林事務所職員が立ち会った訳ではありません。

現地調査に立ち会ったのは、農業委員であり推進委員、申請人として申請者の代理人が立ち会い、そこに会津農林事務所職員も、また農業委員会職員も立ち会いました。とそれぞれ、立場は別々ですので、区切って考えてください。

○4番（高橋二三雄 農業委員）

はい、了解しました。

○議長（土屋勇雄 会長）

その他、意見、討論、質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

ないようですので、採決を行います。

議案第43号のNo.2について、申請のとおり許可相当との意見を付して、県に進達することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第43号のNo.2については、申請のとおり許可相当との意見を付して県に進達することに決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第44号 農地法第5条の規定による許可後の事業計画変更申請について、議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 主幹）

議案第44号「農地法第5条の規定による許可後の事業計画変更申請」について説明いたします。

この議案は、農業委員会の意見を決定したいので審議をお願いするものであります。

6頁をご覧ください。

No.1の貸付人は、〇〇の〇〇 〇〇、借受人が、猪苗代町字〇〇の〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇であり、申請地は 大字〇〇字〇〇2998 番 115 外 1 筆 畑 6,925 m²であります。

申請事由としましては、令和4年8月の大雨による〇〇〇〇レークラインの災害復旧工事に当たり、工事資材等の仮置き場として利用してきましたが、土砂流出の災害レベルが想定よりも高く、本工事の工期が延長されたため、併せて令和6年6月30日まで、工期の延長を申請するものであります。

議案説明資料の9・10・11頁が、申請地の案内図、公図、土地利用計画図となっておりますので、併せてご覧願います。

なお、この案件につきましても、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局として受理し、担当地区の農業委員及び推進委員の方に調査書に基づく調査と現地調査をお願いし、提案しております。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、No.1の調査員であります9番 二瓶 公司 農業委員に報告を求めます。

○9番（二瓶公司 農業委員）

議案第44号のNo.1について、11月14日午前10時30分、〇〇地区担当の農業委員2名、推進委員2名、申請者代理人、及び農業委員会事務局2名立会いのもと、現地調査を実施しましたので報告いたします。

当該申請地は、〇〇行政区から〇〇橋を渡った北側に位置する農振農用地区域外（白地）の農地です。

令和4年8月の大雨による〇〇〇〇レークラインの災害復旧工事に当たり、大量の資材や盛土材、残土等を仮置きする場所が必要な事から、令和5年6月に農地法5条転用許可を受け、一時転用（賃貸借）により利用してきたものであります。

本工事は、現在通行止めとなっている 〇〇 溪谷レストハウスから 〇〇 ゲートまでの全長約5kmにわたる復旧工事ではありますが、土砂流失の災害レベルが想定よりも高く、工期が延長されたため、併せて転用の工事期間延長を申請するものであります。

転用に当たっては、表土を20cm程剥いで、西側境界部周辺に仮置きし、工事完了後は埋め戻して整地し、原状回復するとともに、回収した残土は搬出して、適正に処分することを確認しております。

以上の内容から、今回の工期の延長による影響は無いものと思われます。

よって、許可後の事業計画変更の問題はなく、許可の要件を満たしていると判断したので報告いたします。

○議長（土屋勇雄 会長）

24番 小檜山 慶一郎 推進委員に申し上げます。
調査報告に補足があれば、お願いします。

○24番（小檜山慶一郎 推進委員）

私からは、特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.1の審議を行います。
調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第44号のNo.1について、変更申請のとおり許可相当との意見を付して、県に進達することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第44号のNo.1については、変更申請のとおり許可相当との意見を付して県に進達することに決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第45号「農用地利用集積計画の決定について」を議題といたします。
事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 主幹）

議案第45号「農用地利用集積計画の決定について」説明いたします。

この議案は、猪苗代町長から農業委員会の決定を求められたので審議をお願いするものがあります。

8頁をご覧ください。

個人間の相対による利用権設定であります。

No.1は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 3筆 2,973 m²を、期間9年 10a 当たり 10,000 円で

No.2は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 5筆 3,532 m²を 期間4年 10a 当たり 12,000 円で

それぞれ貸し付けるものであります。

次に9頁をご覧ください。

農地中間管理事業の機構借入れ分であります。

No.1は、〇〇市の〇〇 〇〇の 田 6筆 16,627 m²を 期間11年 10a 当たり 10,000 円と 13,000 円で、〇〇の〇〇 〇〇に、

公社が借受け、借受者に貸し付けるものであります。

次に、10頁は、これと同じ内容の公社貸付分であり、議案書記載のとおりであります。

この案件につきましては、申請者の申請に基づき、町が作成した「農用地利用集積計画書」に基づき、利用権設定案件については、担当地区の推進委員の方に調査票に基づく調査をお願いし、提案しております。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので審議を行います。議案第45号の利用権設定No.2は、〇〇番 〇〇 〇〇 推進委員が、機構借入No.1と機構貸付No.1は、〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員が、議事参与の制限に該当しますので、それらを除いた案件を先に審議したいと思います。

意見、討論、質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

ないようですので、採決を行います。

議案第45号の利用権設定No.2、機構借入No.1と機構貸付No.1以外の案件について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第45号の利用権設定No.2、機構借入No.1と機構貸付No.1以外の案件については原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、議案第45号の利用権設定No.2を審議しますので、〇〇番 〇〇 〇〇 推進委員の退席を求めます。

(〇〇〇〇 推進委員 退席)

それでは、審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

ないようですので、採決を行います。

議案第45号の利用権設定No.2について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第45号の利用権設定No.2については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

〇〇番 〇〇 〇〇 推進委員の出席を求めます。

(〇〇〇〇 推進委員 出席)

〇〇番 〇〇 〇〇 推進委員に報告します。

議案第45号の利用権設定No.2については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、議案第４５号の機構借入No.１と機構貸付No.１を審議しますので、〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員の退席を求めます。

（〇〇〇〇 農業委員 退席）

それでは、審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第４５号の機構借入No.１と機構貸付No.１について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第４５号の機構借入No.１と機構貸付No.１については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員の出席を求めます。

（〇〇〇〇 農業委員 出席）

〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員に報告します。

議案第４５号の機構借入No.１と機構貸付No.１については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

以上で、本総会に付議されました案件は、すべて終了いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは、これをもちまして、令和５年 第１２回猪苗代町農業委員会定例総会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

（閉会時間：午前１０時０３分）

本委員会定例総会の内容を記録し、相違ないことを証明するため議長及び議事録署名人はここに署名する。

令和 5年11月20日

議 長 (会 長)

署 名 人

署 名 人